

『社会科中学生の公民』の特色一覧

② 検討の観点から見た内容の特色

観点	観点の内容	本書の特色 ※ (青字) は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
と の 基 本 法 の 対 応	教育基本法との対応が十分にはかかれているか。	○教育基本法第1条の目標および教育基本法第2条第1～5号に示された内容について、 社会科の目標や学習内容に沿った指導を効果的に行うことができるように構成されている。	おもに p.51-52
学 習 指 導 要 領 と の 対 応	学習指導要領の目標・内容の趣旨に沿ったものであるか。	○単元構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って構成されている。「もくじ」「この教科書の学習のしかた」「公民的分野の学習の全体像を見通そう」では、 単元構成と学習内容、各種コーナーの意図や役割が一望でき、学習の位置づけや見通しがつかみやすいように工夫されている。(巻頭3-7) ○部や章の学習内容を見通せる「学習の前に」、章・節ごとの単元を貫く問い、政治や経済などのしくみや概念が理解しやすい本文、単元の最後の「節の問いを振り返ろう」「章の学習を振り返ろう」というように 単元が構造化され、見通し・振り返りに基づいた単元の学習を確実に実践できるように工夫されている。 ○学習指導要領で重視されている「社会的な見方・考え方」について、第1部第2章「現代社会をとらえる枠組み」や特設ページ「アクティブ公民」など、全編にわたって充実している。(p.17-22,23-24など) ○知識が確実に習得できるように丁寧な本文とし、本文の理解を促す資料を適宜設置している。また、基礎的な技能が身に付く「技能をみがく」コーナーが随所に盛り込まれ、 公民としての資質・能力の基礎を育成できるように配慮されている。	おもに 特色1-5 および p.5-32
内 容 の 配 列 ・ 分 量	全体の分量は、年間標準時数から見て適切か。各単元の配当時数は適切か、系統性が考慮されているか。	○1見開きは1単位時間(以下、時間)の授業が想定され、学習課題が明確に設定されている。 ○授業数は、第1部に11時間(第1章6時間、第2章5時間)、第2部34時間(第1章17時間、第2章17時間)、第3部28時間(第1章21時間、第2章7時間)、第4部24時間(第1章13時間、第2章11時間)が配当され、標準授業時数100時間のうち97時間を活用する配当で、適切である。予備時間は3時間設けられている。	おもに 特色3 p.17-26
	内容の程度・範囲および文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	○本文は、 具体的に例示したり、社会的事象の背景や因果関係までわかるようにしたり するなど、丁寧でわかりやすくなっている。また、平易な表現にするなど、中学生の発達段階が考慮されている。 ○本文、図版タイトル、キャプションの難しい漢字にはふりがなが付されている。また、固有名詞や公公用語には適宜ふりがなが付されており、用語や熟語が正しく読めるように配慮されている。 ○文体は「です、ます」調の語り口で、生徒に親しみやすくなっている。 ○中学校学習指導要領の学習範囲を逸脱せず、基本的な用語や概念の理解を優先的に学べるようになっている。	おもに 特色5 p.31-32

『社会科中学生の公民』の特色一覧

② 検討の観点から見た内容の特色

<p>程 度</p>	<p>学習を効果的かつ効率的に進めるための工夫がなされているか。</p>	<p>○各見開きは、本文、資料、側注などが統一されたレイアウトで配置され、紙面の使い方が整理されている。学習内容が定着するよう、「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、構造化されている。</p> <p>○本文と資料の関連する箇所には、図・写真や他ページへの適切な参照指示が記載され、学習効果を高めるとともに、効率よく資料の活用ができるように工夫されている。</p> <p>○各見開きでは、学習している分野がわかるように、部ごとの色が統一されている。さらに、紙面右端にインデックスが設けられ、全体における位置づけを確認しながら学習できるように工夫されている。</p> <p>○用語解説や関連資料が本文のページの側注欄に掲載されており、ページ間を移動する時間が省け、生徒が集中力を切らさないで授業を進められる。</p>	<p>おもに 特色3 p.17-26 特色5 p.31-32</p>
	<p>課題解決的な学習を行うための構成・工夫がなされているか。</p>	<p>○単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「第○節の問いを振り返ろう」と章末の「章の学習を振り返ろう」というように、問いが構造化され、単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、課題解決的な学習ができる構成になっている。</p> <p>○「章の学習を振り返ろう」では、「章の問い」に対して「社会的な見方・考え方」を働かせて考えるステップなどにより、課題解決的な学習ができる工夫がなされている。 (p.169-170など)</p>	<p>おもに 特色3 p.17-26</p>
	<p>「主体的・対話的で深い学び」を実現するための構成・工夫がなされているか。</p>	<p>○「学習の前に」では、大きなイラストから学習内容に関連した事項を探し出す作業を通じて、生徒の興味・関心を引き出し、「主体的な学び」を促すよう配慮されている。</p> <p>○実社会のさまざまな課題に取り組む人々へのインタビュー「先輩たちの選択」が設置され、実社会の人々の話を聞く「対話的な学び」を紙面上で疑似体験できるようになっている。</p> <p>○単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「第○節の問いを振り返ろう」と章末の「章の学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、単元のまとまりのなかで「深い学び」が実現できる構成になっている。</p> <p>○本文のページは左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを配置し、下部に本文を掲載する学習しやすいレイアウトで統一されている。また、相互にリンクが張られ、資料が活用しやすく工夫されている。</p> <p>○特設ページ「アクティブ公民」では、実社会で起きうる問題に対して、さまざまな立場から考察することを通じて、「深い学び」につなげられるよう配慮されている。 (p.23-24, 33-34, 57-58など計10か所)</p> <p>○「章の学習を振り返ろう」では、学習した知識をもとに、「社会的な見方・考え方」を働かせながら主体的・対話的に「章の問い」を振り返ることで、「深い学び」につなげられるよう配慮されている。(p.15-16, 25-26など計7か所)</p>	<p>おもに 特色3 p.17-26</p>

『社会科中学生の公民』の特色一覧

② 検討の観点から見た内容の特色

内容の扱い／学習活動	<p>基礎的・基本的な「知識および技能」を確実に習得するための工夫がなされているか。</p>	<p>○見開き1時間の紙面が、興味・関心を引く「導入」→学習を見通せる「学習課題」→丁寧でわかりやすい「本文」→学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識および技能が確実に習得できるようになっている。</p> <p>○部や章の冒頭にある「学習の前に」のイラストや資料から学習内容を見通し、「章の学習を振り返ろう」で学習内容を振り返る学習活動ができるようになっている。</p> <p>○本文は、全編にわたり社会的事象の背景や概念がわかるように因果関係をふまえた上で、具体例を挙げながらわかりやすく記述されている。</p> <p>○「技能をみがく」コーナーが10か所設けられ、学習する上で必要な基礎的な技能が習得できるよう配慮されている。(p.24,58,71-72,92,102,103など)</p>	<p>おもに 特色1 p.5-10 特色3 p.17-26 特色5 p.31-32</p>
	<p>深い学びを実現させるための「思考力・判断力・表現力等」を育成するような配慮がなされているか。</p>	<p>○本文のページの見開き右下には、「確認しよう」と「説明しよう」が設置されている。「確認しよう」には本時の学習での習得事項を確認する作業課題が、「説明しよう」には本時の学習内容を活用して思考を促し、自分なりに判断・表現する問いが設けられている。これにより言語活動を毎時間くり返し行い、思考力・判断力・表現力を育成できるよう配慮されている。</p> <p>○各章末には「章の学習を振り返ろう」が配置され、章の学習で得た知識を生かして、「社会的な見方・考え方」を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられている。</p> <p>○現代の社会で議論されているさまざまなテーマの賛否を示す「Yes No」のコーナーが8か所設けられ、生徒が自分の考えを整理できるようになっている。</p>	<p>おもに 特色3 p.17-26 特色4 p.27-30 特色5 p.31-32</p>
	<p>「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる社会的な見方や考え方を働かせるための配慮がなされているか。</p>	<p>○「対立と合意」「効率と公正」(第1部)、「個人の尊重と法の支配、民主主義」(第2部)、「分業と交換、希少性」(第3部)、「協調、持続可能性」(第4部)などの公民的分野における「現代社会の見方・考え方」を、各部の本文のページで丁寧に解説している。さらに、特設ページ「アクティブ公民」や「章の学習を振り返ろう」などでは、具体的な事例や意見交換を通して、「現代社会の見方・考え方」を働かせられるように工夫されている。</p> <p>○地理的分野や歴史的分野で働かせる「見方・考え方」についても、教科書冒頭の「公民的分野の学習の全体像を見通そう」で振り返るとともに、第4部第2章「課題の探究」でそれらの「見方・考え方」を働かせながらレポートを作成するように促し、関連が図られている。(巻頭7,p203-204)</p>	<p>おもに 特色4 p.27-30</p>

『社会科中学生の公民』の特色一覧

② 検討の観点から見た内容の特色

	<p>生徒の興味・関心を喚起させ、「主体的に学習に取り組む態度」を育成できるような配慮がなされているか。</p>	<p>○幅広の判型（AB判）で、写真やグラフ、表などが大きく見やすく提示され、学習への興味・関心が喚起されるように工夫されている。</p> <p>○部や章の導入として、学習内容を見通すことができるイラストで構成した「学習の前に」が設けられ、学習内容と生活との関連を見出し、興味・関心を高めてから学習に入ることができるようになっている。</p> <p>○生徒にとって親しみやすい中学生のキャラクターが各ページに配置され、発問や気づき、学習の手がかりや示唆などを提示することで、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。</p> <p>○各見開きの左上に、1時間ごとの導入となる資料が設けられている。ワイドな写真からイメージを喚起したり、学習内容を直感的に理解できるイラストなどから生活との関わりを具体的にイメージしたりして、学習への意欲を引き出せるようになっている。</p>	<p>おもに 特色1 p.5-10 特色3 p.17-26</p>
<p>内容の扱い／</p>	<p>小学校・高等学校との接続や関連に配慮がなされているか。</p>	<p>○部や章などの冒頭にある「学習の前に」の見開き右上に「小学校との関連」コーナーが設置され、小学校での学習事項を振り返り、部などの学習内容を見通すことで、学習効果を高められるようになっている。（p.2など）</p> <p>○本文のページ下段には「小学校・地理・歴史との関連」コーナーが設けられ、小学校で学習した内容を確認できるよう、関連用語が提示されている。（p.109など）</p> <p>○高等学校の3年生で18歳選挙権を行使する生徒がいることをふまえ、高等学校の前段階である中学校の公民的分野の学習において、主権者としての社会参画の意義をさまざまな面から理解できるようになっている。（p.99-100など）</p>	<p>おもに 特色2 p.11-16 特色3 p.17-26</p>
	<p>他分野との接続や関連への配慮がなされているか。</p>	<p>○本文ページ下段には「小学校・地理・歴史との関連」コーナーが設けられ、地理的分野・歴史的分野で学習した内容を確認できるよう、関連用語が提示されている。（p.55など）</p> <p>○積極的に地図が取り入れられており、地理的分野との接続が考慮されている。（p.185など）</p>	<p>おもに 特色3 p.17-26</p>
	<p>我が国の伝統・文化、宗教に対する理解を深められるような配慮がなされているか。</p>	<p>○第1部第1章第2節「私たちの生活と文化」において、伝統・文化や宗教について丁寧に解説するとともに、狂言師・野村萬斎さんのインタビューから、伝統・文化を継承し、創造していくことの大切さを実感できるようになっている。（p.13-14）</p>	<p>おもに 特色2 p.11-16</p>

『社会科中学生の公民』の特色一覧

② 検討の観点から見た内容の特色

学習活動	我が国の領土・領域を正しく理解できるような配慮がなされているか。	○第4部第1章第1節「2領土を巡る取り組み」において、北方領土、竹島、尖閣諸島が 日本固有の領土であることが明記 され、領土に関する現状を示しつつ、平和的な解決に向けた方法が考えられるようになっている。(p.175-176)	おもに p.41-42
	補充的な学習や発展的な学習に対しての工夫・配慮がなされているか。	○具体例を交えた本文やそれを補足する図解などによって、 基礎的・基本的な学習内容が定着し、補充的な学習を行いやすくなっている。 ○コラム「未来に向けて」や特設ページ「よりよい社会を目指して」が設置され、現代社会の諸課題に取り組む人々の姿を示すことで、社会に対し 生徒自身がどのように参画していくかを発展的に考えることができる ようになっている。(p.197-198など)	おもに 特色5 p.31-32
	生徒が家庭でも主体的に自学自習できるような配慮がなされているか。	○「この教科書の学習のしかた」を掲載し、 自学自習がしやすい よう配慮されている。(巻頭5-6) ○本文のページには「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が設置され、 予習・復習がしやすい ようになっている。また、単元のまとめである「章の学習を振り返ろう」も復習しやすいよう配慮されている。 ○二次元コードで学習内容に関連する動画や「章の学習を振り返ろう」の解答などが閲覧でき、生徒が自学自習しやすいように工夫されている。(巻頭4など計25か所)	おもに 特色3 p.17-26 および p.43-44
環境教育に関して、どのような配慮がなされているか。	○第4部第1章第2節では、地球環境問題について、その原因や背景から、解決に向けた取り組みまで紹介されている。(p.191-198) ○環境問題への対応も含め、「 持続可能な社会の実現 」という 観点から考察・構想し、自分の考えをレポートとして論述できる よう構成されている。(p.203-210)	おもに p.39-40	
	防災に関して、どのような配慮がなされているか。	○第2部第2章第3節「2 地方公共団体のしくみと政治参加」において、地域における防災への住民参加の重要性が解説されている。(p.95-96) ○教科書の最後のページで中学生も参加している防災・減災の取り組みが掲載され、 生徒の参画意識を高めるよう に構成されている。(巻末2-3)	おもに 特色2 p.13-16

『社会科中学生の公民』の特色一覧

② 検討の観点から見た内容の特色

今日の 課題への 対応	<p>人権・平和教育 の推進のために、どのような配慮がなされているのか。</p>	<p>○第2部第1章「日本国憲法」において、人権の意義や課題が解説されている。 (p.29-62など)</p> <p>○コラム「未来に向けて 人権」が6か所設置され、人権に関する課題の解決に向けた取り組みが紹介されている。(p.30,48,68,138,162,196)</p> <p>○第2部第1章第1節「5日本の平和主義」において、日本国憲法における平和主義の意義が解説されているとともに、第4部第1章第1節「7国際社会における日本の役割」において、平和主義に基づく日本の国際協力のあり方を考えられるようになっている。(p.39-40,185-186)</p>	<p>おもに p.35-36</p>
	<p>グローバル化に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○第1部第1章第1節「2グローバル化が進む現代」において、グローバル化の概要と社会への影響が解説されている。(p.5-6)</p> <p>○第4部第1章第1節「6グローバル化が進む国際社会」において、国際社会の現状と国際協調の重要性が解説されている。(p.183-184)</p>	<p>おもに p.39-40</p>
	<p>少子高齢化に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○第1部第1章第1節「3少子高齢化が進む現代」において、少子高齢化の概要と社会への影響が解説されている。(p.7-8)</p> <p>○第3部第2章「4社会保障と私たちの生活」において、少子高齢化の現状をふまえた国の財政のあり方を考えられるようになっている。(p.165-166)</p>	<p>おもに p.33-34</p>
	<p>情報化に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○第1部第1章第1節「1情報化が進む現代」において、情報化の概要と社会への影響が解説されている。(p.3-4)</p> <p>○第3部第1章第4節「4これからの日本経済と私たち」において、経済のデジタル化や人工知能(AI)の発達などに伴うこれからの日本経済のあり方を考えられるようになっている。(p.151-152)</p>	<p>おもに p.33-34</p>
	<p>「持続可能な開発目標」(SDGs)に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○第4部第1章第2節「4国際社会のよりよい発展」では、「持続可能な開発目標」(SDGs)について解説されている。(p.195-196)</p> <p>○コラム「未来に向けて」において、SDGsに関連する項目にはSDGsマークが付されている。(p.138など)</p>	<p>おもに p.39-40</p>

『社会科中学生の公民』の特色一覧

② 検討の観点から見た内容の特色

表記・表現	<p>統計, 挿絵, 写真, 図表等は鮮明, 正確かつ適切であり, 相互の関連がはかられるなど学習効果を高めるための工夫がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本文の記述を補足する写真や図表などが豊富に掲載され, 学習を深められるようになっている。 ○学習内容に関連する事項についての参照ページ, 参照資料の図番号, 「条文参照」などのリンク機能が設けられ, 資料の活用を促している。 ○資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が随所に設置され, 資料の活用を促している。 ○公民的分野の学習に必要な用語を解説した「解説」のコーナーが側注欄に40項目設けられている。 	<p>おもに 特色5 p.31-32</p>
	<p>特別支援教育やインクルーシブ教育に対して適切な配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本文や図版などでは, 文字をはっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォント (UDフォント) が使用され, 誤読を防ぐように配慮されている。 ○見開きのデザインや, グラフ・地図などの資料には, 色覚特性をもつ生徒も識別しやすい色や模様が使用され, カラーユニバーサルデザインに配慮がなされている。 ○色数の多いグラフや地図には, 模様や線種, 記号などが使用され, 色以外での区別ができるように配慮されている。 ○図版が色で囲まれ, どこまでが同一の図版か読み取りやすくなっている。 ○各見開きのデザインは, 生徒が学習しやすいように本文, 資料, 側注などが統一されたレイアウトで整理されている。 ○紙面右端のインデックスには, 章の学習内容が記載されていることで, 一目で学習している単元がわかるように配慮されている。 ○反射を抑えた紙が用いられ, 読み取りやすくなるように配慮されている。 	<p>おもに p.45-46</p>
印刷・装丁等	<p>紙質や印刷の鮮明さなど, 生徒の利便性に配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○写真の印刷は鮮明で見やすくなっている。 ○表やグラフなどの図版は, 記号や注記文字が明瞭で読み取りやすいように配慮されている。 ○紙は, 反射を抑えつつ, 鮮明に発色して裏写りせず, かつ文字も書き込める軽量なものが使用されている。 ○生徒が家庭に持ち帰ることを想定し, 軽い紙が用いられている (現行教科書比単位面積あたり約5%の軽量化)。 	<p>おもに p.45-46</p>
	<p>造本は長期間の使用に耐えられるような配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○表紙の材料は引っ張り, 折りなどに強い用紙が使用され, さらに, 表面の摩耗・汚れを防ぐためにポリプロピレンシートが貼られており, 長期間の使用に耐えられる。 ○製本は, 針金綴じよりも強度があり, かつ重量の軽いPUR製本が用いられている。これにより本が大きく開くため, 掲載情報量が増えるとともに, 机の上に開いたまま置くことができる。 	<p>おもに p.45-46</p>

『社会科中学生の公民』の特色一覧

② 検討の観点から見た内容の特色

	用紙・インキ等は、 環境への配慮 がなされているか。	○古紙および環境に優しいフレッシュパルプが用いられている。インキには国産米の米ぬかから作られるライスインキが使用され、 環境保全と地産地消への配慮 がなされている。 ○針金を使わないPUR製本により、資源を節約すると同時に、リサイクルしやすくなっている。	おもに p.45-46
サ 体 制 ト	デジタル教科書・教材や教師用指導書などのサポート体制 はどのようなになっているか。	○学習者用デジタル教科書，学習者用デジタル教材，指導者用デジタル教科書（教材），教師用指導書，拡大教科書が令和3年4月までに発刊される予定である。	おもに p.47-50